

令和7年度 第1回江別市営住宅運営委員会会議録要旨

日 時 ・ 場 所	令和7年7月30日(水) 10:00～10:30 市民会館33号室
出 席 者	委員長／堀委員 委 員／飯塚委員、小林委員、外山委員、佐竹委員、表委員 傍聴者／1名
事 務 局	建設部長、建設部次長、建築住宅課長、住宅係長、建築住宅係
事務局 開会 ～委嘱状交付～ ～委員紹介～ ～建設部長挨拶～ ～委員長選出。委員の互選により堀委員が委員長に選出～ ～委員長挨拶～ 事務局 以降の議事進行を委員長に依頼する。 委員長 次第7の報告事項について事務局から一括で報告願う。 事務局 資料に基づき、「(1) 市内の住宅状況等について」、「(2) 住宅使用料滞納整理の状況について」報告 委員長 以上の報告について、何か質疑等はないか。 A委員 資料3ページ、(2)「団地別収入分位世帯数」について、資料には記載はないが、収入分位1の世帯における単身世帯や子育て世帯の割合を教えてください。 事務局 単身世帯と子育て世帯の割合は手元に数値がわかる資料がなく、事務的な感覚として、単身世帯が30%程度、子育て世帯が10%程度と思われる。後日あらためて数値を示したい。 B委員 資料3ページ、4「市営住宅環境改善及び大規模改善状況について」、修繕計画は中長期的な見通しがあって実施されているものか。 事務局 令和3年3月に長寿命化計画を策定しており、団地の長寿命化を図る上で計画に基づいて事業実施している。 委員長 他になければ、報告事項はこれで終了する。 次に次第8のその他について事務局からあるか。 事務局 あけぼの団地再整備計画の策定スケジュール等について、机上配付した参考資料に基づき報告。 委員長 報告のあったあけぼの団地再整備計画の策定スケジュール等について、質疑のある委員はいるか。 C委員 第2回策定委員会の議事予定にある「官民連携」について、現時点でどのように考えているか。	

事務局 官民連携は、策定委員会では他市の事例について示し、今後、あけぼの団地の余剰地の活用について民間事業者からヒアリング等の実施を予定している。
また、第3回策定委員会では、官民連携の可能性について、あけぼの団地にふさわしい余剰地活用はどのようなものが考えられるか検討する予定。

C委員 余剰地の話では、新栄団地にも同様の余剰地があるが、その活用はどのように考えているか

事務局 新栄団地の余剰地は、約 8,200 m²を社会福祉施設等誘導用地として位置づけていたが、事業者の活用意向がない状況や社会情勢の変化を受け、都市計画マスタープランに基づく、医療・福祉・行政等の中心市街地にふさわしい利活用を検討する。

委員長 他になれば、以上をもって令和7年度第1回江別市営住宅運営委員会を終了する。